

当院で行っている肝胆膵疾患 診断、治療のご紹介



内科部長・地域連携室長

池田 一毅 医師

【閉塞性黄疸、総胆管結石の治療】

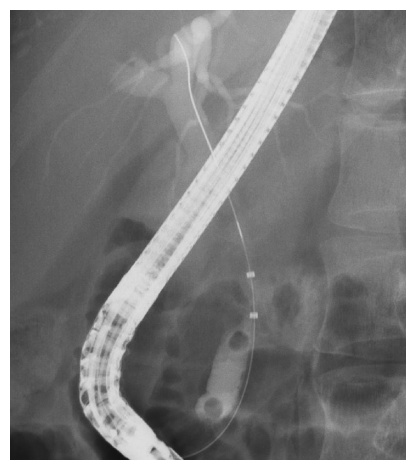
(ERCP を中心とした治療)

京都からすま病院は稼働病床89床、回復期リハビリ43床、地域包括医療病棟46床の小規模病院です。

地域包括医療病棟の主たる目的は増え続ける高齢者救急への対応といえます。

総胆管結石は年齢とともに増える傾向があり、当院では、内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)を中心とした手技(内視鏡的胆管ドレナージ術、内視鏡的採石術)を行っています。

総ての医療機能を備えた地域中核病院(ハイボリュームセンター)とは異なり、総ての症例について24時間365日対応可能とはいいがたい状況ですが、地域の医療機能分担という点で一役を担えればと考えております。

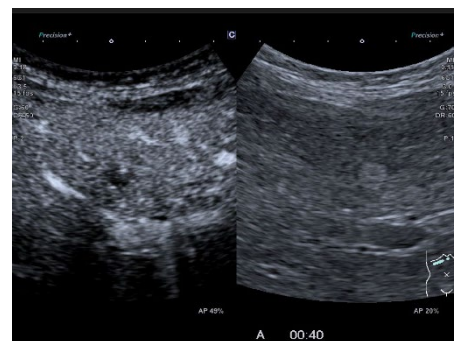


【肝腫瘍に対する造影超音波検査】

検診で肝腫瘍が疑われる場合 肝血管腫など良性腫瘍が大半で肝細胞癌と診断される症例は比較的少数と考えられます。

肝腫瘍診断のゴールドスタンダードは造影 CT、EOB を用いた MRI であることはいうまでもありませんが、腎機能低下症例、アレルギー歴のある症例では安易に造影 CT、EOB-MRI は選択できません。

当院ではそのような制約の少ない超音波造影剤（ソナゾイド；鶏卵アレルギーの方は注意を要します。）を用いた造影超音波検査を積極的に行っています。



【肝細胞癌に対する経動脈経カテーテル動脈塞栓療法】（TACE）

肝細胞癌と診断された場合、治療ガイドラインにのっとり腫瘍の大きさ、個数、肝機能により様々な治療法を選択します。

必要に応じて 腫瘍栄養血管への超選択的カテーテル挿入を目指して経動脈経カテーテル動脈塞栓療法(TACE)を行っております。



受診のご予約は「地域連携室」へ

連携室 直通番号 075-491-8598

（受付時間：平日 8：30～17：00）

※当院受診歴の無い方も紹介ご予約いただけます



京都からすま病院
KYOTO KARASUMA HOSPITAL

〒603-8142 京都市北区小山北上総町 14

TEL 075-491-8559 FAX 075-492-4304